看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する取り組みと計画

当院では、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資することを目的とする計画を策定し、これに基づき以下の取り組みを実施しております。

1. 業務量の調整

- ・時間外労働が発生しないような業務量の調整

2. 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮

- ・育児休業 ・介護休業 ・時間外労働の制限 ・育児（介護）短時間勤務 ・深夜業の制限
- ・半日単位休暇制度・所定労働時間の短縮（9時～16時まで（2時間短縮））

3. 看護補助者の配置

- ・看護補助者の夜間配置

4. 夜勤負担の軽減（夜勤2交代）

- ・仮眠2時間を含む休憩時間の確保
- ・夜勤後の暦日の休日の確保
- ・夜勤専従者の確保
- ・夜勤従事者の増員
- ・11時間以上の勤務間隔の確保

5. 多様な勤務形態の導入

- ・パートタイムでの職員の採用
- ・妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮

6. 他職種との具体的業務分担

- ・リハビリスタッフ、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、管理栄養士、事務職員、その他との連携を図り業務分担を行っています

(1) 薬剤師

1. 病棟への薬剤の払出しは点滴、注射等を患者単位で準備し、病棟看護師の負担の軽減を図る。
2. 院外処方体制を維持し、病棟での服薬指導、持参薬管理や病棟常備薬の薬剤管理を担うことにより、看護師の負担の軽減を図る。

(2)臨床検査技師

病棟での採血業務を行い、看護師の負担の軽減を図る。

(3)事務職

入院受付案内等各種手続きを事務職が行うことで、看護師が本来の看護業務に専念できる体制を整備する。

(4)リハビリ

機能訓練室でリハビリを行う際、病室間の送りをを行い、看護師の負担軽減を図る。

(5)放射線技師

X線ポータブル撮影機を使用する事により、撮影室までの移送を無くし看護師の負担軽減を図る。

以上

2024年5月1日

医療法人ゆかり たかまえ病院
病院長